

大和化成

大和化成は、商事部門の各グループのビジネスが堅調に推移している。

全体的には原材料の高騰が輸入販売に影響しているものの、メッキ関連の主力商品が右肩上がりで推移するほか、食品および食品加工薬品では自社製品の売り上げが好調。

一方、海外営業では基盤強化のため、タイ・バンコクで現地法人の設立準備を進めている。「今夏に

は登記が完了できる見通し」(奥濱良明社長)で、防錆剤やプラスチックメ

収剤では世界最大手メーカー。商事部門では99年に無機化学品商社・高德と業務連携を結び、2006年には吸収合併。業

品「海外営業」の4グループで構成する。メーカー機能を持つことで営業、研究開発、製造の連携によるソリューションビジネスで存在感を高めている。

今夏めどにタイ法人設立

ツキ薬剤を軸に現地での販売に拍車をかける考え。

売り上げの3分の1を占めるなど飛躍の原動力となっている。

表面処理剤は、メッキ関連で主力品の販売が右肩上がりで伸びている。

大和化成の創立は1963年。化学品メーカーと商社の両機能を持ち、眼鏡レンズ用の紫外線吸

商事部門は「表面処理剤・防錆剤・合成化学品」食品および食品加工薬品「無機中心の化学薬

1〜5月はグループで売り上げが前年同期比5%程度成長拡大した。食品・食品加工薬品は、自社

製品が好調で全体でも安定的に推移している。無機化学品も堅調。

現地法人の設立準備を進めているタイでは、まず日系ユーザーの需要開拓を図り、将来的に現地企業の掘り起こしを進める方針。自社製品を軸に輸出を拡大していく。